

長崎外国語大学  
2015年度  
学生意識調査  
報告書

文責：教学IR委員会

代表：外国語学部長

小鳥居伸介

2016年8月

# I 学生生活について

設問1. あなたは日本人学生ですか?それとも海外からの留学生ですか?	
1) 日本人学生	90.5%
2) 留学生	9.5%
設問2. あなたは現在、入学後何学期目ですか?	
1) 3 学期目または 4 学期目[大学 2 年生]	26.6%
2) 5 学期目または 6 学期目[大学 3 年生]	16.8%
3) 7 学期目以降[大学 4 年生]	18.6%
4) 2 学期目[大学 1 年生]	38.0%
設問3: あなたの性別は何ですか?	
1) 女性	67.6%
2) 男性	31.4%
設問4. あなたは大学生生活に満足していますか?	
1) 満足している	15.2%
2) まあまあ満足している	38.9%
3) 普通	32.5%
4) あまり満足していない	8.8%
5) 満足していない	4.6%
【コメント】学年・男女別の回答内訳では、(1)または(2)と回答した者の値は、大学 1 年生がもっとも高く、次いで大学 4 年生、大学 2 年生、大学 3 年生の順となっている。大学 1 年生では女子よりも男子の方がかなり高い値を示し、70%を超えている。大学 2 年生、大学 3 年生、大学 4 年生では女子の方が男子よりも高い値を示し、特に大学 4 年生では女子の方が男子よりもはるかに高い値を示している。日本人学生と留学生の比較では、(1)または(2)と回答した者の値は、日本人学生が 54.8%、留学生が 48.6%で日本人学生の方が留学生よりも高い値を示している。2014 年度では、日本人学生が 54.4%、留学生が 67.3%で日本人学生よりも留学生の方がかなり高い値を示していたが、2015 年度では日本人学生の値がほとんど変わっていない一方で、留学生の値がかなり低くなった。	
設問5. 学生生活の中で一番困っていることは何ですか?(複数回答可:最も適当と思われるものを2つまで選択)	
1) 友人関係がうまくいかない	4.2%
2) 将来の見通しがたかない	32.3%
3) やりたいことが自由にできない	7.6%
4) やりたいことがない	5.5%
5) 大学の授業に興味をもてない	10.3%
6) 大学の授業についていけない	7.0%
7) 経済的な問題	17.1%
8) 特になし	16.1%
設問6. 現在抱えている悩みや不安は何ですか?(複数回答可:最も適当と思われるものを2つまで選択)	
1) これからの進路について	38.0%
2) 健康上のこと	3.2%
3) 勉学上のこと	21.9%
4) 自分の性格のこと	4.8%
5) 金銭上のこと	15.4%
6) 友人関係	2.1%
7) いじめにあっている	0.5%
8) 生活環境	4.6%
9) 特になし	8.8%
10) その他	0.7%
設問7. 悩みがあったら誰に相談しますか?(複数回答可:最も適当と思われるものを2つまで選択)	
1) 家族	31.7%
2) 友人	47.3%
3) 先輩	6.2%
4) アドバイザーの先生	3.6%
5) アドバイザー以外の先生	0.7%
6) カウンセラー	0.5%
7) 職員	1.6%
8) 個人的な悩みを相談する人がいない	1.4%
9) 相談しない	6.9%
設問8. 学内のカウンセリングルームについて	
1) 行ったことがある	7.5%
2) 行ってみたいと思ったことがある	22.4%
3) 存在を知らなかった	17.0%
4) 行かない	52.8%
設問9. 8 で行かないと答えた人は、行かない理由を選んでください。	
1) 必要がない	72.8%
2) 場所が悪い	3.4%
3) 時間帯が悪い	4.7%
4) 行っていることを他の人に知られたくない	6.5%
5) カウンセリングがどういふものか、よくわからない	12.5%
設問10. アドバイザーにはどういふ相談をしたいですか? (複数回答可)	
1) 学業に関すること	32.7%

2) 卒業後の進路の問題	35.5%
3) 個人的な悩み	11.0%
4) その他	1.7%
5) 特になし	19.1%
【コメント】各学年全体の回答としては、1,2年次は、「学業に関する相談」が最も多いが、「卒業後の進路の問題」を少し上回っているに留まっている。一方3,4年次では、「卒業後の進路の問題」が一番相談したい内容となっている。この結果から1,2年次においても、卒業後の進路に関する意識は決して低いものではないことがうかがえる。従って、2014年度に続き、早期段階からのアドバイザー担当教員とキャリア支援課の連携は、不可欠であるといえよう。	
設問11. アドバイザーとのコンタクトは取りやすいですか。	
1) 取りやすい	56.7%
2) やや取りづらい	25.3%
3) 取りづらい	18.1%
設問12. 11で「取りづらい」「やや取りづらい」と答えた人は、どうしてコンタクトがとりづらいと思いますか。	
1) アドバイザーが研究室にいない	18.3%
2) 研究室がどこかわからない	12.2%
3) コンタクトの取り方がわからない	54.4%
4) その他	14.4%
【コメント】最も多い回答である「コンタクトの取り方がわからない。」は、日本人の各学年全体や留学生全体を見ても、50%を上回っている。オリエンテーションにおけるアドバイザーの紹介の際や、初回授業などにおいて、コンタクトを取るための手段を伝達する必要があるだろう。	
設問13. あなたのアドバイザーとどの程度話をしていますか。	
1) 頻繁に話をしている	11.3%
2) 時々話をしている	22.6%
3) 相談事があるときだけ話をしている	15.2%
4) 授業以外では全く話をしない	34.1%
5) 全く話したことがない	16.8%
【コメント】2014年との比較では、望ましいと思われる回答1)～3)と、問題であると思われる回答4)・5)の間に顕著な差は見られないが、2014年度では、1)～3)の合わせた回答が52.8% (192人)となり、4)・5)を合算した回答47.2% (172人)を上回っていたのに対し、2015年度は、1)～3)の合算した回答 (49.1% (187人))よりも4)・5)の合わせた回答数 (50.9% (194人))の方がやや多くなっている。また、学年別の傾向として、2014年度同様、最もアドバイザーとコンタクトを取らないのが3年次 (4)・5)と答えた学生が合わせて54.7% (23人)であり、最もコンタクトを取るのが、4年次 (4)・5)と答えた学生が合わせて49.5% (44人)である。また、日本人学生と留学生を比較すると、2014年とは異なり留学生の方がアドバイザーとのコンタクトを取っていないことがわかる。留学生では、4)・5)と答えた学生が58.3% (21人)という結果になっている。	
設問14. あなたのアドバイザーとどの程度話をしていますか。	
1) 時間が合わないなどの理由で、機会を逃してしまう	12.5%
2) 自分が消極的なため機会はあるが話すことができない	15.4%
3) 話したいと思うがアドバイザーが相談にのってくれそうにない	5.8%
4) 特に話す必要がない	51.0%
5) アドバイザーが誰か知らない	15.4%
設問15. あなたはたばこを吸いますか？	
1) はい	10.0%
2) いいえ	90.0%
【コメント】喫煙者は全体で10.0%で、男子学生は21.1%、女子は4.5%となっている。全体的に非喫煙者が多いことについては、未成年者が多く含まれることや、近年の喫煙意識の高まりなどがその背景にあると思われる。ただし、4年生に限ると男子が46.7%、女子が15.8%が喫煙者で、年齢があがるにつれて喫煙者が増える傾向がある。また、日本人学生では10.3%、留学生は5.4%が喫煙している。2014年度の統計と比較すると、留学生の割合が減少している。煙草は個人の嗜好品であるため一律に禁止するというのは問題があるが、近年の社会的な動向を考えると、非喫煙に導くような方向性を考えてもよいであろう。	
設問16. あなたはたばこを吸いますか？	
1) このままでいいと思う	66.1%
2) 屋内禁煙にすべき	17.2%
3) 学内全面禁煙にすべき	12.6%
4) 屋内禁煙時間を設けるべき	1.9%
5) 他の場所に移動したほうがよい	2.2%
【コメント】最も多かったのは「このままでいいと思う」(66.1%)であった。現状が比較的受け入れられているようであるが、「屋内禁煙にすべき」(男子12.3%・女子19.7%)「学内全面禁煙にすべき」(男子14.8%・女子11.5%)と喫煙に対しより厳しい態度を求める学生も一定数存在し、特に女子学生のその傾向が強い。そもそも女子学生が多数を占める現状を考えると、喫煙場所をより制限してほしいというニーズも無視できないのではないかとと思われる。また、前年度の調査でも指摘されているが、喫煙場所は教職員も利用するため、学生の模範となる態度を示すことも求められるであろう。	
設問17. 通学時間はどのくらいですか？	
15分以内	53.4%
30分以内	24.0%
1時間以内	10.2%
1時間以上	12.4%
【コメント】約半数の学生が15分以内の場所から通学することになる(本校の位置を考えると、15分以内に学校に到着できるという場合、多くは寮からの通学であると思われる)。全体で見ると、7割以上の学生が30分以内で通学しているが、一方で一時間以上と答えている学生も1割ほどおり、特に女子学生でその割合が高い(男子9.0%、女子14.1%)。取って時間をかけているということは、実家から通学しているものと思われる。	
設問18. 通勤手段は次のうちどれですか？(複数可)	
1) 徒歩	41.0%
2) バス	35.9%
3) JR	6.4%
4) 路面電車	3.7%
5) 自家用車	7.0%
6) バイク	7.2%
7) 自転車	2.0%

## I 学生生活について

<p>【コメント】徒歩が41.0%と最も多く、寮あるいは打坂・元村のバス停からの通学であると思われる。また、バスの利用者が35.9%で、徒歩と合わせてこの二つが最も有力な通学手段となっている。路面電車の利用がほとんどないことから（3.7%）、赤迫で乗り換えるという通学方法はほとんどとられていないようである。本学の場合、公共交通機関を利用するとなるとバスが主流となるが、その利便性については改めて利用者に調査する必要がある。また、自家用車・バイク・自転車など自力の移動手段を用いている学生も16.2%いる（留学生はバイクが1名のみ）</p>	
設問19. 自家用車、または、バイクで通学している人への質問です。自家用車やバイクで通学をする場合、学校から許可を受けなければなりません。あなたは、許可を受けていますか？	
1) 受けている	51.9%
2) 知らなかったで受けていない	28.4%
3) 知っていたが、許可は受けていない	19.8%
<p>【コメント】許可を受けているのが約半数（51.9%）となっている。現状、駐車・駐輪スペースが不足しているわけではないので、この点について積極的に注意をはらっていないのではないかとと思われる。しかし、社会のルールを守る姿勢を身につけるといった教育的観点からも駐車駐輪のマナー遵守は重要であると思われ、許可については周知させる必要がある。また、許可制であることを知らなかった学生（28.4%）も、アンケートを通して自覚が高まることを期待したい。</p>	
設問20. 一日の授業が終わった後、何をすることが一番多いですか？	
1) すぐに帰宅する	43.4%
2) 友達と会う	17.1%
3) サークル活動を行う	5.9%
4) 学内で自習する	7.7%
5) アルバイト	26.0%
<p>【コメント】全体的な傾向として、「すぐに帰宅する」が約50%であり、次いで、「アルバイト」、「友達と会う」の順という結果であった。その一方で、「サークル活動を行う」の割合は、日本人が6.5%であったのに対し留学生は0%であり、留学生がサークル活動に参加していない状況であった。学年別の結果では、1年生は「すぐに帰宅する」、「友達と会う」、「アルバイト」の順であった。2～4年生は「すぐに帰宅する」、「アルバイト」、「友達と会う」の順であり、学年によって授業後の過ごし方に特徴があることが示唆された。</p>	
設問21. 授業がある時間以外は、学内のどこで過ごすことが多いですか。	
1) 学食	7.4%
2) コミュニティラウンジ	32.4%
2) コミュニティラウンジ	
3) ライブラリー	40.8%
4) クラブハウス	2.0%
5) 空き教室	6.6%
6) テラス	1.0%
7) CoStaスペース	4.1%
8) 屋外	5.6%
<p>【コメント】全体的な傾向として、「ライブラリー」と「コミュニティラウンジ」で過ごしている学生の割合が多いことが示唆された。その一方で、「学食」と「CoStaスペース」は、日本人よりも留学生が活用している状況であった。学年別の結果では、1、2年生は「コミュニティラウンジ」や「ライブラリー」の割合が高かった。3、4年生は「ライブラリー」や「コミュニティラウンジ」はもとより、「空き教室」の割合が高く、学年によって学内で過ごす場所に特徴があることが示唆された。</p>	
設問22. 週にどのくらいアルバイトをしていますか？	
1) 授業後毎日	4.2%
2) 授業後週に3、4日	38.1%
3) 週末のみ	10.4%
4) 夜間のみ毎日	1.3%
5) 夜間のみ3、4日	5.5%
6) 夜間のみ1、2日	2.6%
7) していない	37.9%
<p>【コメント】全体的な傾向として、「授業後週に3、4日」と「していない」が同程度の割合であった。また、「週末のみ」の回答について、日本人が9.1%であったのに対し、留学生は22.2%と、週末の過ごし方に違いがあることが示唆された。学年別の結果では、「授業後週に3、4日」と回答している割合が高い傾向があった。その一方で、「していない」の割合は1～3年生では約40%であったのに対し、4年生では28%であるなど、学年が上がるにつれて何かしらのアルバイトをしている学生の割合が多いことが示唆された。</p>	
設問23. 現在あなたがしているアルバイトの職種は次のうちどれにあたりませんか？（複数回答可：最も適当と思われるものを2つまで選択）	
1) ファーストフード店での販売	8.7%
2) ウェイトレス、ウェイター	20.2%
3) 夜間の飲食店（居酒屋、バー等を含む）	24.0%
4) コンビニエンスストア、スーパーやデパートでの販売、レジ係	17.5%
5) 夜間のコンビニエンスストア	1.5%
6) その他の販売	16.3%
7) 家庭教師又は塾の講師	5.3%
8) 事務	3.0%
9) 工場や運送業等での軽作業	3.4%
<p>【コメント】全体的な傾向として、「ウェイトレス、ウェイター」や「夜間の飲食店」でアルバイトをしている学生の割合が高かった。その一方で、「コンビニエンスストア、スーパーやデパートでの販売、レジ係」でアルバイトをしている日本人は約15%であったのに対し、留学生は50%と、アルバイトの職種に違いがあることが示唆された。学年別の結果では、1年生は「ウェイトレス、ウェイター」、2年生と4年生は「夜間の飲食店（居酒屋、バー等を含む）」、3年生は「コンビニエンスストア、スーパーやデパートでの販売、レジ係」と回答している割合がもっとも高く、学年による違いが示唆された。全体的な傾向として、「ウェイトレス、ウェイター」や「夜間の飲食店」でアルバイトをしている学生の割合が高かった。その一方で、「コンビニエンスストア、スーパーやデパートでの販売、レジ係」でアルバイトをしている日本人は約15%であったのに対し、留学生は50%と、アルバイトの職種に違いがあることが示唆された。学年別の結果では、1年生は「ウェイトレス、ウェイター」、2年生と4年生は「夜間の飲食店（居酒屋、バー等を含む）」、3年生は「コンビニエンスストア、スーパーやデパートでの販売、レジ係」と回答している割合がもっとも高く、学年による違いが示唆された。</p>	
設問24. アルバイトが原因で授業を休んだことがありますか？	
1) たびたびある	4.4%
2) 時々ある	12.1%
3) めったにない	22.1%
4) 一度もない	60.7%
<p>【コメント】全体的な傾向として、「めったにない」、「一度もない」を足した割合が80%を越えており、授業に支障が出ない程度にアルバイトに従事していることが示唆された。学年別の結果においても、全体的な傾向と同様の傾向が示唆された。その一方で、「時々ある」の割合に注目すると、1年生は5.6%であるのに対し2～4年生は約16%であった。そのため、学年が上がるにつれて、アルバイトを理由に授業を休んでしまうことが多くなる傾向があることが示唆された。</p>	
設問25. 学内の施設、またその使用方法について改善してほしいものがありますか？（複数回答可：最も適当と思われるものを2つまで選択）	

【コメント】ほぼ毎年多くの学生が改善要望を出す施設として、3)のトイレと7)の売店が挙げられる。2014年度の調査(大学全体・複数回答)によれば、23.9%の学生がトイレに不満をもっており、また、21.9%の学生が改善を望んでいる。2015年度の調査(大学全体・複数回答)においても同様な結果(トイレ:29.1%、売店:20.2%)が出ているが、特に、トイレに関しては不満の度合いが上がっているようである。男女差で見ると、圧倒的に多くの女子学生が改善を望んでいる。2014年度の調査によれば、例えば、4年生女子の36.8%がトイレの改善を望み、また、2015年度の調査では、3年生女子学生の40.6%がトイレの改善を望んでいることがわかる。調査年度と学年の要因を制御して細かく分析していく必要があるが、全体的に見ると、3人に1人の割合で女子学生はトイレに不満をもっていることは事実として受けとめた方がよさそうである。

売店に関しては、全体的に見ると(2014年度と2015年度のデータを基にして)、5人に1人の割合で学生が改善要望を出しているが、例えば、2015年度の2年生に限って言えば、比較的高い数字が出ている(男子学生:34.2%、女子学生:30.8%)。3人に1人の割合で改善要望が出ていることに関しては、質的データや聞き取り調査を基に要因特定が必要であろう。

留学生と日本人学生との比較で見た場合(2014年度と2015年度のデータを基にして)、留学生のトイレや売店に関する不満は日本人学生のそれらと比較して相対的に低いことはわかるが、おおよそ5人に1人の割合でトイレや売店に関して改善要望を出していることは忘れてはいけないだろう。

設問26. 平均でみた場合、一日(月～金で、週末は除く)の睡眠時間は大体どれくらいですか。

睡眠時間に関して、平成26年3月に出された厚生労働省健康局の『健康づくりのための睡眠指針2014』(p.8)は、個人差はあるものの、必要な睡眠時間は6時間以上8時間未満のあたりにあるのではないかと見解を示している。ここでは、2014年度の調査同様、「睡眠時間6時間未満=睡眠不足」を一つの基準として本学学生の睡眠時間を考えてみる。

大学全体で見ると睡眠時間6時間未満の学生が67.1%で、7割近くの学生が十分な睡眠をとっていないことがわかる。2014年度は62.5%であったが、5%程度の増加で、睡眠不足の学生が増えているようである。学年別で見ると、1年生70.3%、2年生68.0%、3年生62.8%、4年生63.7%で、2014年度同様、学年に関係なく十分な睡眠がとれていないようである。この数字のうち、4年生の63.7%は2014年度の調査結果(50.6%)より13%程度高くなっているが、これには就職活動のスタートの時期が遅くなり、結果として就職活動が長引いたことによる学生の負担増が影響しているのかもしれない。

日本人学生と留学生との比較で見ると、前者が70.2%で後者が35.1%であるが、その差は約35%である。2014年度の差が20%であったことを考えると日本人学生の睡眠不足は極めて深刻であると言える。個人差はあるものの、日本人学生より留学生の方が元気があるように感じている教職員も多いと思うが、疲れた表情で授業を受けている日本人学生を見るとその背後には睡眠時間の問題があると見えよう。

設問27. 平日(月～金で、週末は除く)、朝食はどの程度とっていますか。

1) ほぼ毎日食べる	
2) 2, 3日に1回程度食べる	
3) 4, 5日に1回程度食べる	
4) 殆ど食べない	

【コメント】厚生労働省が発表した『平成24年国民健康・栄養調査結果の概要』(2013年12月)によると、調査当日(特定の1日)において朝食を欠食した人は男性で12.8%・女性9.0%に達している(p.27)。ここでは、2014年度の調査同様、朝食を「4,5日に1回程度食べる」、「殆ど食べない」を一つの基準として本学学生の朝食状況を考える。

大学全体で見ると、朝食を欠食する学生が30.0%で、おおよそ3人に1人の学生が朝食を取っていないことがわかる。学年別で見ると1年生19.9%、2年生41.8%、3年生27.9%、4年生35.6%であるが、2014年度の調査結果を見ると、それぞれ1年生24.7%、2年生41.0%、3年生34.6%、4年生40.0%で、全体的には減少傾向が見られる部分もあるが、特に、2年次の学生が欠食する傾向が強いことが理解できる。2年次から勉学が本格化することがその理由のかもしれない。

日本人学生と留学生との比較で見ると、前者が31.3%で後者が20.6%で、その差10.7%は、2014年度の調査結果(7%)の時より大きくなってきているようである。上述の睡眠時間に関する35%の差と比較すると、この10%の差は大した数字ではないが、学生全体で見ると、日本人学生/留学生は十分に朝食を取らない人が多く、特に、日本人学生にその傾向が強いことは間違いないようである。

睡眠時間不足同様、朝食なしの生活スタイルは好ましくない。最近、特に、疲れて、無気力な学生が増えてきているようであるが、一日の活力源である朝食なしの状況がその原因の一つになっているようである。

設問28. 現在、身体面で健康な状態(勉学に支障のない程度)にあると思いますか。

【コメント】睡眠不足や朝食を取らない生活が続くと、健康を害する可能性が高くなる。ここでは、設問27)と設問28)の結果を踏まえながら、2014年度の調査同様、「あまり健康ではない」/「健康ではない」と回答した学生数で学生の健康状況を見ていく。

大学全体で見ると「あまり健康ではない」/「健康ではない」と回答した学生の割合は15.7%である。2014年度の調査結果(17.6%)を考えると、若干減少しているもの、おおよそ6人に1人の割合で、健康上何らかの問題を抱えていることがわかる。

学年別で見ると1年生14.2%、2年生13.3%、3年生21.0%、4年生15.5%であるが、2014年度の調査結果(1年生16.5%、2年生19.9%、3年生21.0%、4年生13.5%)と比較すると、傾向的に大きな変化は見られない。ただ、3年次で健康上の問題が表面化する傾向にあることは留意しておく必要があるであろう。この理由としては、例えば、3年次において授業の予習・復習等による負担が増え、睡眠時間が不足することなどが挙げられよう。

日本人学生と留学生との比較で見ると、前者が15.9%、後者が13.5%で、その差は2%程度である。上述の睡眠時間に関する35%以上の差と比較するとこの2%も大した数字ではないが、学生全体で見ると、日本人学生/留学生ともに健康に不安を感じている学生は決して少なくなく、特に、3年次の日本人学生にその傾向が強いと言える。

設問29. 掲示板について

1 毎日くまなく見る	7.3%
2 毎日決まったところだけ見る	20.5%
3 学校に来たとき見る	24.9%
4 週に何度かは見る	25.4%
5 あまり見ない	15.5%
6 ほとんど見ない	6.5%

【コメント】大学全体で見ると、頻度の差はあれ掲示板を見て情報を取得している(回答1~4)割合は78.1%であり、大多数の学生が掲示板を確認する必要性を認識していると思われる。これに対して、掲示板の利用が少ない(回答5,6)割合は22%であるが、これは昨年度の調査では16.3%であり、割合が増えている。本学では、学生への告知事項を原則として掲示板で伝達しているが、それが2割以上の学生に伝わらないとなると、看過できない重大な問題である。

学年によって掲示板の利用状況の主たる傾向(ピーク)が異なる。すなわち2年生は「週に何回か見る」ことが、3年生は「決まったところだけ見る」、4年生は「学校に来たとき見る」の値が最も高い。これはそれぞれの学年の情報ニーズと登校状態の違いを反映しているであろう。日本人と留学生の間にも、利用状況の差が見られる。すなわち日本人が週に何度か見る傾向が高いのに対し、留学生は学校に来たときに不定期に見る割合が高い。留学生に対し、重要な情報をリアルタイムに伝えられない危険性があり、対策が必要である。なお留学生と同じような傾向を示しているのが4年生学生である。登校する頻度が低い学生に対して、的確に情報を伝える方策を見出さねばならない。

全体として掲示板を確認しない学生が増えているのは、おそらく学生の普段の情報源がインターネットに換わり、印刷物から情報を得る習慣がなくなってきたことに起因するだろう。2~4の回答、すなわち必要に応じて、またアクセスできることだけ掲示板を確認するという回答が70%ほどを占めているが、これはまさにインターネット情報の利用形態である。

このような学生の行動特性および情報リテラシーを鑑みると、情報伝達媒体をインターネットに移行させることはもはや不可避であろう(現時点でも遅きに失しているが)。インターネットにアクセスできない学生はきわめて少数だと予想されるので、この移行は歓迎されこそすれ、反撥を招くことは考えにくい。あらためて学生の情報収集方法を調査し、それにあった情報発信へとあらためなければならない。なお学生支援部では、2016年度よりSNSで掲示板の機能を補足する可能性を探っている。この取り組みを加速して、学生との効果的かつ効率的な情報伝達経路を再構築せねばならない。

設問30. 学生要覧について

1 よく参考にする	3.1%
2 必要なときには参考にする	27.4%
3 ときおり参考にする	28.7%
4 まったく見ない	40.6%

【コメント】掲示板と同じく、学生要覧も学生生活を送る上での必須情報源であり、全体を把握し、熟知しておく必要がある。ところが「まったく見ない」と回答している学生が40%もいる。しかも昨年度の割合から2ポイント増加している。残りの大半が、必要なときに必要な情報を学生要覧から得ようとしている(回答2,3)のだが、これも設問29と同じく、ネット時代の情報収集形態を示していることは間違いない。電子媒体の積極的な利用を進めることによって、学生要覧の周知徹底、利用促進を図らねばならない。

学年別には有為な差は見られない。ただ、4年生の「よく参考にする」割合が他の学年と比べて幾分高いのは、卒業や就職を考えて自らの大学生活について、諸規程を確認する機会が増えるからであるまいか。

そうだとすれば、学生要覧がなんのためにあるのかを、4年次に至り必要性に迫られるまで理解しない学生が多いことも想定される。本学では新入生対象のオリエンテーションにて学生要覧の重要性を学生に伝え、学生要覧を参照させつつ様々な説明を行っているものの、それが十分な効果を生んでいないことが、本調査結果からわかる。逆に日本人学生は、既にそれまでの学校経験から全て了解済みだ、あるいは問題が起きても何とかなるという油断があるのではないか。そうだとすれば、日本人学生には自己責任感の希薄さと甘えが問題視されねばならない。

学生要覧は現在も本学ホームページ上でPDFのから公表しているが利用する学生は少なく、その存在さえ知られていない可能性も高い。ホームページ上の個別情報に、学生要覧の関係箇所をピックアップして表示する/呼び出せるリンクを張るようにすれば効果的であろう。インターネットから必要な情報だけを必要な時にのみ取得する昨今の情報収集法に合わせて、現実的な改善策を実行してゆくことが求められる。

設問31. 主な経費支弁者(学費や生活費など修学に必要な資金を出している人)は誰ですか。(2つまで選択)

1 親	69.5%
2 親以外の保護者・親類	3.8%
3 自分自身(奨学金を含む)	26.6%

<p>【コメント】全体的な傾向として、「親」、「自分自身（奨学金を含む）」を足した割合が90%を越えている状況であった。その一方で、「親以外の保護者・親類」の割合は、日本人よりも留学生が高かったという結果も示された。 学年別の結果は、全ての学年において全体的な傾向と同様の傾向であり、「親」、「自分自身（奨学金を含む）」を足した割合が約90%であった。</p>	
<p>設問32. 経費支弁者からの資金のみで、修学可能ですか。</p>	
1 可能	52.4%
2 やや困難	32.4%
3 かなり困難	14.7%
<p>【コメント】全体的な傾向として、「可能」と回答している割合が約50%を越えている一方で、「やや困難」と回答している割合が約30%であった。また、「かなり困難」と回答している割合が留学生で高いことも示された。日本人、留学生ともに、アルバイト等をしなければ、修学に困難を抱えている学生が多いことが示唆された。 学年別の結果は、全ての学年において全体的な傾向と同様の傾向であった。</p>	
<p>設問33. 大学独自の奨学金（給付型）について、種類や申し込み方法などを</p>	
1 十分理解している	35.4%
2 もっとよく知りたい	45.5%
3 知る必要はない	19.1%
<p>【コメント】全体的な傾向として、「もっとよく知りたい」と回答している割合がもっとも高いことが示された。また、留学生では「十分に理解している」の割合が13.5%、「もっとよく知りたい」の割合が83.8%であった。そのため、日本人、留学生問わず、大学独自の奨学金に関する情報提供してもらえる機会を求めている可能性があることが示唆された。 学年別の結果は、全ての学年において全体的な傾向と同様の傾向であった。</p>	
<p>設問34. 外部団体（日本学生支援機構など）の奨学金（貸与型）について種類や申し込み方法などを</p>	
1 十分理解している	44.8%
2 もっとよく知りたい	33.9%
3 知る必要はない	21.2%
<p>【コメント】全体的な傾向として、「十分に理解している」と回答している割合がもっとも高いが、「もっとよく知りたい」との回答が約30%であった。また、留学生の約84%が「もっとよく知りたい」と回答していた。そのため、外部団体の奨学金に関して、特に留学生が情報提供してもらえる機会を求めている可能性があることが示唆された。 学年別の結果は、全ての学年において全体的な傾向と同様の傾向であった。</p>	
<p>設問35. 大学独自の奨学金について意見・要望があったら、具体的に記述してください。</p>	
<p>【コメント】この設問に対して具体的な記述はなかった。しかしながら、設問52（学生生活と学習について感じる事があれば自由に書いてください）において、奨学金に関する記述がいくつか見受けられた。具体的には、留学に行きたいが経済的に難しい、留学のための奨学金について納得できない部分がある、などである。つまり、留学はしたいが奨学金を受給できない、もう少し分かりやすく説明してほしい、などの要望があるのではないかと推察された。</p>	
<p>設問36. 学生の皆さんは全員、学生会の構成員です。外語祭、スポーツ大会、課外活動など積極的に参加していますか。</p>	
1 はい	49.0%
2 いいえ	49.5%
<p>設問37. 3、6で「いいえ」と答えた人は、不参加の理由は何か。（複数回答可：最も適当と思われるものを2つまで選択）</p>	
1 興味が無い	29.9%
2 時間が無い	37.8%
3 一緒に参加する友達がいない	5.1%
4 情報が無い	7.5%
5 面倒くさい	17.3%
6 その他	2.4%
<p>【コメント】「時間が無い」という回答が最も多く、「興味が無い」、「面倒くさい」と続く。学生の自主性が重視される学生会活動において、「興味が無い」、「面倒くさい」と回答した学生に対して無理に参加をさせるのは本末転倒であろうが、学生会執行委員会には、より魅力ある活動内容を提案し、積極的な参加を促すよう期待したい。「時間が無い」という学生は、勉強やアルバイトなど他に優先させるべき事柄があると判断しているであろうが、日程の工夫等で学生会活動への参加につなげることが可能かもしれない。学生のコースを一層正確に把握することが求められる。また、下記の設問38で「もっと楽しそうに活動して欲しい」という意見や、「（執行委員会）仲間に入りづらい」との意見もあった。執行委員会は固定メンバーで活動するが、本来学生会は学生全体の組織であるので、執行委員会以外の学生もうまく巻き込むための活動も必要ではあるまいか。 注目されるのは、日本人学生と留学生との違いである。日本人に関しては、全体と同じ傾向が見られるのだが、留学生では「一緒に参加する友達がいない」という回答の多さが目立つ。このように答えた学生は、誰かが手を引っ張ってくれば学生会活動に参加し、そこで友人を見つけることもあろう。留学生の多い本学にあっては、学生会だけではなく大学側もこの問題に積極的にコミットし、留学生を学内イベントへと呼び込むことがきわめて重要である。留学生では「面倒くさい」と答える学生が比較的小さいのであるから、働きかけ次第では有為な効果を見込めるであろう。</p>	
<p>設問38. 学生会執行委員会主催のイベントを増やしてほしいですか。具体的にどのようなイベントを開催してほしいですか。</p>	
<p>設問39. 学生会の執行委員会へ、イベント以外に関する要望はありますか。あれば記入してください。</p>	
<p>【コメント】留学生との交流イベントの充実を希望する学生が複数いた。両設問とも、ほとんどの学生が未記入（無回答）であったが、それだけにはっきりと希望を示した学生の思いは強いと推測される。中国語、韓国語関連のイベントを作りたいという具体的な要望もある。</p>	

質問内容が同じため、2014年度と2015年度の1年生の相違及び1学年上がった2年生以降の1年後の変化に注目した。2015年度は毎日利用する1年生が多く、特筆すべきは1年生男子で、52.3%が「毎日利用」しており(2014年度は33.3%)、「ほとんど利用していない」、「まだ一度も利用していない」という回答はゼロである(2014年度は11.1%)。

1年後の変化は、2年、3年の女子では週1回以上利用する学生が5ポイント以上増加しており、4年女子では「毎日利用」が11.3ポイントも増えている。男子は2年、3年、4年いずれも週1回以上利用する学生が減っており、「ほとんど利用しない」男子学生が2年で8.3ポイント増、3年で9.2ポイント増、4年男子では25.9%の学生が「ほとんど利用しない」と回答している。

利用しない学生の「必要がない」という回答は、大学全体で2014年度は50.0%、2015年度は51.3%であるが、2015年度の1年男子は、男子の中では最も少ない44.4%である(2014年度1年生男子は66.7%)。利用しない学生の中でも、女子は2014年度からの変化として、「必要がない」は、1年が2年になり19.4ポイント減、2年が3年になり33.3ポイント減であり、男子の「必要がない」は、2年が3年になり20ポイント増、3年が4年になり21.2ポイント増である。回答者数は少ないが、4年男子の利用しない学生の80%が「必要がない」という意識を持っている。「本がきれい」との回答はゼロであるので、実質的に必要性がないということであろうか。

学習する場所はライブラリー以外にも選択肢があるが、資料収集や調査のための図書館利用を行わずに論文・レポートを書いたり研究発表を行ったりしているのか、或いは、回答した男子学生は4年間レポートの提出や発表を行わずに済んでいる、ということなのか。

設問40. あなたはどの位の頻度でライブラリー(図書館)を利用していますか?  
 1) 毎日 2) 週に2、3回程度 3) 週に1回程度 4) 月に1、2回程度 5) 試験期間だけ  
 6) ほとんど利用していない 7) まだ一度も利用したことがない

設問41. 40. で「ほとんど利用していない」「まだ一度も利用したことがない」と答えた人は、利用しない理由を教えてください。  
 選択肢にない場合は、「その他」に具体的に記入してください。  
 1) 必要がない 2) 学外の図書館を利用している 3) ほしい資料がない 4) 本がきれい 5) その他( )

設問40.

2014年度		1年生			2年生			3年生			4年生			日本人全体	留学生全体
	全体	全体	女子	男子	全体	女子	男子	全体	女子	男子	全体	女子	男子		
回答者数合計(人)	365	83	56	27	116	75	37	78	41	35	86	47	39	309	57
毎日	19.7%	25.3%	21.4%	33.3%	19.8%	20.0%	18.9%	12.8%	9.8%	14.3%	20.9%	17.0%	25.6%	20.1%	17.5%
週に1~3回程度	54.8%	50.6%	51.8%	48.1%	49.1%	48.0%	54.1%	56.4%	70.7%	40.0%	64.0%	61.7%	66.7%	53.7%	61.4%
月に1、2回程度	10.4%	4.8%	5.4%	3.7%	16.4%	14.7%	16.2%	9.0%	9.8%	8.6%	9.3%	12.8%	5.1%	10.7%	8.8%
試験期間だけ	4.9%	7.2%	8.9%	3.7%	3.4%	5.3%	0.0%	6.4%	2.4%	11.4%	3.5%	4.3%	2.6%	5.2%	3.5%
ほとんど利用していない	9.6%	10.8%	10.7%	11.1%	11.2%	12.0%	10.8%	14.1%	7.3%	22.9%	2.3%	4.3%	0.0%	9.7%	8.8%
まだ一度も利用したことがない	0.5%	1.2%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%

2015年度

	大学全体	1年生			2年生			3年生			4年生			日本人全体	留学生全体
		全体	女子	男子	全体	女子	男子	全体	女子	男子	全体	女子	男子		
回答者数合計(人)	365	134	90	44	92	61	31	41	26	15	83	57	27	332	35
毎日	26.8%	32.1%	22.2%	52.3%	27.2%	26.2%	29.0%	22.0%	26.9%	13.3%	18.1%	21.1%	14.8%	27.1%	22.9%
週に1~3回程度	49.0%	48.5%	52.2%	40.9%	47.8%	52.5%	38.7%	46.3%	46.2%	46.7%	50.6%	56.1%	37.0%	47.9%	60.0%
月に1、2回程度	11.0%	10.4%	12.2%	6.8%	9.8%	11.5%	6.5%	14.6%	11.5%	20.0%	13.3%	12.3%	14.8%	12.0%	2.9%
試験期間だけ	2.2%	1.5%	2.2%	0.0%	3.3%	1.6%	6.5%	2.4%	3.8%	0.0%	2.4%	0.0%	7.4%	2.4%	0.0%
ほとんど利用していない	10.1%	6.0%	8.9%	0.0%	12.0%	8.2%	19.4%	12.2%	7.7%	20.0%	15.7%	10.5%	25.9%	9.9%	11.4%
まだ一度も利用したことがない	0.8%	1.5%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	2.9%

設問41

2014年度

	全体	1年生			2年生			3年生			4年生			日本人全体	留学生全体
		全体	女子	男子	全体	女子	男子	全体	女子	男子	全体	女子	男子		
回答者数合計(人)	92	18	12	6	33	22	10	25	8	17	14	4	10	70	23
必要がない	50.0%	72.2%	75.0%	66.7%	48.5%	50.0%	40.0%	52.0%	37.5%	58.8%	28.6%	0.0%	40.0%	54.3%	34.8%
学外の図書館を利用している	28.3%	27.8%	25.0%	33.3%	27.3%	27.3%	30.0%	24.0%	25.0%	23.5%	28.6%	25.0%	30.0%	22.9%	47.8%
ほしい資料がない	16.3%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	18.2%	20.0%	12.0%	25.0%	5.9%	42.9%	75.0%	30.0%	18.6%	8.7%
本がきれい	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	4.5%	10.0%	12.0%	12.5%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	8.7%
その他(具体的に記入)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

2015年度

	大学全体	1年生			2年生			3年生			4年生			日本人全体	留学生全体
		全体	女子	男子	全体	女子	男子	全体	女子	男子	全体	女子	男子		
回答者数合計(人)	80	22	13	9	18	9	9	11	6	5	26	16	10	69	11
必要がない	51.3%	50.0%	53.8%	44.4%	61.1%	55.6%	66.7%	36.4%	16.7%	60.0%	53.8%	37.5%	80.0%	53.6%	36.4%
学外の図書館を利用している	26.3%	22.7%	15.4%	33.3%	22.2%	33.3%	11.1%	27.3%	33.3%	20.0%	26.9%	37.5%	10.0%	24.6%	36.4%
ほしい資料がない	13.8%	13.6%	15.4%	11.1%	16.7%	11.1%	22.2%	18.2%	33.3%	0.0%	11.5%	12.5%	10.0%	11.6%	27.3%
本がきれい	6.3%	13.6%	15.4%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	16.7%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.2%	0.0%

その他(具体的に記入)	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	12.5%	0.0%
-------------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------

2.9%	0.0%
------	------

#### 自由回答

・ライブラリーの書籍について、もっと最近の物を増やしてほしい。  
 ・図書館で長時間雑談する人をよく見かけます。学生同士はなかなか注意できません。しづらいです。職員さんに注意して頂いたり、退館させたり、何か処理をしてほしいです。気が散るので図書館に居る意味が無くなります。

前者について：毎年度新しい資料を購入しているが、蔵書全体の中での古くから所蔵している資料の割合が大きいのはいたし方ないことであるので、「最近の」資料についての具体的なリクエストがあれば対応していく。

後者について：2014年度の自由回答にも同様の意見があったため、対策として、ライブラリーとコスタ・スペースとコミュニティラウンジ3箇所の用途に応じた使い分けを示したポスターを館内に複数掲示し、注意喚起を図っているところである。また、周囲の利用者の迷惑になる態度をとる学生には注意をしている。



《総評》

特に設問44(キャリアセンターの満足度)において、「普通(回答3)」と回答した学生がほぼ半数の47.2%にのぼる。最も関わりの薄い1年次生において「普通」と回答した割合が最も高いことから察するに、「満足」にせよ「不満」にせよ、何らかの評価を下さない(下せない?)ことについては、そもそもキャリアセンターの取り組みに対して関心を向けていないことに起因していると考えられる。今後は低年次学生にも積極的にキャリア支援の取り組みを実施し、キャリアセンターのプレゼンスを高めていく必要がある。

設問44 キャリアセンターからの情報提供や来室時の相談対応、実施している課外講座等に満足していますか？  
 【満足度】 1)満足している 2)まあまあ満足している 3)普通 4)あまり満足していない 5)満足していない

	全体	1年			2年			3年			4年			日本人	留学生
		女子	男子		女子	男子		女子	男子		女子	男子			
回答1(回答数)	112	30	19	11	26	14	12	15	12	3	35	24	12	96	16
回答2	73	24	16	8	21	17	4	4	3	1	20	13	7	67	6
回答3	178	80	55	25	42	30	13	19	11	8	28	21	7	166	12
回答4	10	1	1	0	4	2	2	3	0	3	2	1	1	9	1
回答5	4	1	1	0	1	0	1	1	0	1	2	0	2	4	1
回答合計	377	136	92	44	94	63	32	42	26	16	87	59	29	342	36
回答1(%)	29.7%	22.1%	20.7%	25.0%	27.7%	22.2%	37.5%	35.7%	46.2%	18.8%	40.2%	40.7%	41.4%	28.1%	44.4%
回答2(%)	19.4%	17.6%	17.4%	18.2%	22.3%	27.0%	12.5%	9.5%	11.5%	6.3%	23.0%	22.0%	24.1%	19.6%	16.7%
回答3(%)	47.2%	58.8%	59.8%	56.8%	44.7%	47.6%	40.6%	45.2%	42.3%	50.0%	32.2%	35.6%	24.1%	48.5%	33.3%
回答4(%)	2.7%	0.7%	1.1%	0.0%	4.3%	3.2%	6.3%	7.1%	0.0%	18.8%	2.3%	1.7%	3.4%	2.6%	2.8%
回答5(%)	1.1%	0.7%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%	3.1%	2.4%	0.0%	6.3%	2.3%	0.0%	6.9%	1.2%	2.8%

- 全体的満足度(回答1+回答2の割合)は2014年度50.6%→今回49.1%と微減
- 全体的不満度(回答4+回答5の割合)は2014年度7.3%→今回3.8%と減少。学年別では2・3年生がそれぞれ5.4%・9.3%と高い
- 学生の半数が留学する2～3年次には全体対象のキャリア支援の取り組みが手薄であり、それが学生の不満度に繋がっている可能性がある
- 2年次秋から3年次春にかけて留学に行かない学生を対象とした取り組みを増やす必要がある(6/23:3年生対象イベント予定)

設問45 あなたの職業観にもっともよくあてはまると思われる項目を、以下の選択肢の中から一つ選んで回答してください。  
 【職業観】

- 1) 収入が少なくても興味の持てる仕事より、興味が持たなくても収入の多い仕事を選びたい
- 2) 収入や知名度などよりも、自らの興味・関心を優先して職業を選びたい
- 3) 収入や知名度などよりも、社会への貢献性を重視して職業を選びたい
- 4) どんな職業に就くかよりも、どこで働くか(勤務地)を優先したい
- 5) 大学で学んだことを生かせる職業を選びたい
- 6) やりたい仕事が見つかるまでは就職をしなくてもよい

	全体	1年			2年			3年			4年			日本人	留学生
		女子	男子		女子	男子		女子	男子		女子	男子			
回答1(回答数)	39	11	8	3	10	3	7	4	2	2	12	8	4	30	9
回答2	196	74	45	29	45	35	10	25	16	9	46	30	16	180	16
回答3	8	1	1	0	2	2	0	1	1	0	4	2	2	6	2
回答4	28	1	1	0	8	4	4	7	3	4	12	11	2	24	5
回答5	108	54	41	13	31	23	8	6	5	1	10	6	4	107	3
回答6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	2	3	2
回答合計	384	141	96	45	96	67	29	43	27	16	89	60	30	350	37

回答1(%)	10.2%	7.8%	8.3%	6.7%	10.4%	4.5%	24.1%	9.3%	7.4%	12.5%	13.5%	13.3%	13.3%	8.6%	24.3%
回答2(%)	51.0%	52.5%	46.9%	64.4%	46.9%	52.2%	34.5%	58.1%	59.3%	56.3%	51.7%	50.0%	53.3%	51.4%	43.2%
回答3(%)	2.1%	0.7%	1.0%	0.0%	2.1%	3.0%	0.0%	2.3%	3.7%	0.0%	4.5%	3.3%	6.7%	1.7%	5.4%
回答4(%)	7.3%	0.7%	1.0%	0.0%	8.3%	6.0%	13.8%	<b>16.3%</b>	11.1%	25.0%	13.5%	18.3%	6.7%	6.9%	13.5%
回答5(%)	<b>28.1%</b>	<b>38.3%</b>	42.7%	28.9%	<b>32.3%</b>	34.3%	27.6%	<b>14.0%</b>	18.5%	6.3%	<b>11.2%</b>	10.0%	13.3%	30.6%	8.1%
回答6(%)	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	5.0%	6.7%	0.9%	5.4%

- 「大学で学んだこと(=語学力)を生かす」(回答5)の回答率が2014年度18.0%→今回28.1%と大幅増(回答数:65→108)
- その一方、上記回答5の学年別回答率は、1年生38.3%→2年生32.3%→3年生14.0%→4年生11.2%と、学年が進むにつれて減少
- 「語学力を生かしたい」と希望している学生が、学年の上昇につれてその希望を諦めていることが窺える(この傾向は2014年度でも同様)
- 「就職に必要な語学力を担保する教育プログラムの開発」と「ビジネスで求められる語学力の基準の周知」を引き続き行いたい

設問46 卒業後の進路について考えていますか？

【進路1】 1)考えている 2)考えていない

	全体	1年		2年		3年		4年		日本人	留学生				
		女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子						
回答1(回答数)	300	100	71	29	74	53	21	33	23	10	80	53	28	270	30
回答2	84	39	22	17	23	14	9	9	3	6	8	6	2	78	6
無効回答	4	0	0	0	2	0	2	1	1	0	1	1	0	3	1
回答合計	388	139	93	46	99	67	32	43	27	16	89	60	30	351	37
回答1(%)	77.3%	71.9%	76.3%	63.0%	74.7%	79.1%	65.6%	76.7%	85.2%	62.5%	89.9%	88.3%	93.3%	76.9%	81.1%
回答2(%)	21.6%	28.1%	23.7%	37.0%	23.2%	20.9%	28.1%	20.9%	11.1%	<b>37.5%</b>	9.0%	10.0%	<b>6.7%</b>	22.2%	16.2%

- 「考えていない」(回答2)の回答率は属性別で見ると3年男子で最高(37.5%)。3年男子で最も高くなる傾向は昨年同様
- 2014年度に41.7%(15名)が「考えていない」と回答した当時の3年男子(今回の4年男子)は、1年後の今回調査で6.7%(2名)まで減少
- 3年男子における「考えていない(回答2)」の回答率が高いのは、就活を直前に控えた一時的な逃避感情と推察される

設問47 46で「考えている」と答えた人は、具体的に次のなかから選んでください。

【進路2】 1)就職 2)大学院への進学 3)海外の大学、語学学校への留学 4)その他

	全体	1年		2年		3年		4年		日本人	留学生				
		女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子						
回答1(回答数)	249	87	63	24	63	45	18	26	19	7	61	40	21	236	13
回答2	37	8	1	7	5	2	3	6	3	3	17	11	6	19	18
回答3	16	7	6	1	2	1	1	1	1	0	6	4	2	14	2
回答4	16	3	3	0	8	6	2	2	1	1	5	4	1	15	3
回答合計	318	105	73	32	78	54	24	35	24	11	89	59	30	284	36
回答1(%)	78.3%	<b>82.9%</b>	86.3%	75.0%	<b>80.8%</b>	83.3%	75.0%	<b>74.3%</b>	79.2%	63.6%	<b>68.5%</b>	67.8%	70.0%	83.1%	36.1%
回答2(%)	11.6%	7.6%	1.4%	21.9%	6.4%	3.7%	12.5%	17.1%	12.5%	27.3%	19.1%	18.6%	20.0%	6.7%	50.0%
回答3(%)	5.0%	6.7%	8.2%	3.1%	2.6%	1.9%	4.2%	2.9%	4.2%	0.0%	6.7%	6.8%	6.7%	4.9%	5.6%
回答4(%)	5.0%	2.9%	4.1%	0.0%	10.3%	11.1%	8.3%	5.7%	4.2%	9.1%	5.6%	6.8%	3.3%	5.3%	8.3%

- 「就職」(回答1)の回答率は学年の上昇に反比例して減少(1年82.9%→2年80.8%→3年74.3%→4年68.5%)
- ただ本設問への回答は日本人学生と留学生で傾向を大きく異にするため、上記を以て「上級生は就職への意欲が低い」とは断定できない
- 半数(50.0%)が「大学院進学」(回答2)志望である留学生の、各学年における割合が明示されない限り、正確な傾向把握は困難(特にサンプル数の少ない3年生においては、24名中何名が留学生からの回答であるのかが分かるデータが欲しい)

## Ⅱ 学習について

ここからは、

<以下は大学での勉学に関する質問です。授業についての質問は特定の授業ではなく、授業全部をイメージして答えてください。>として設問されている。

※（学年別など具体的な%は調査データを参照下さい）

### 設問 49

あなたが授業科目を選択するとき、重視することは何ですか。（2つ以内）

- ①学問的な興味                      ②課題の量の多少                      ③単位の取りやすさ  
 ④成績のつけ方（出席、試験、レポート等）                      ⑤時間割の都合  
 ⑥将来の仕事の役に立つか                      ⑦授業のやり方、教え方

	全体	1年生			2年生			3年生			4年生			日本人	留学生
		全体	女子	男子	全体	女子	男子	全体	女子	男子	全体	女子	男子		
回答 1(回答数)	255	104	67	37	61	44	17	23	16	7	55	40	16	237	18
回答 2	19	4	2	2	6	4	2	4	2	2	4	2	2	16	3
回答 3	77	17	12	5	21	14	7	15	8	7	21	12	9	70	7
回答 4	53	11	10	1	20	16	4	6	3	3	14	10	5	43	11
回答 5	118	34	27	7	37	30	7	16	11	5	25	20	6	108	11
回答 6	86	48	36	12	20	16	4	3	3	0	14	10	4	79	8
回答 7	29	12	6	6	6	4	2	4	4	0	6	4	2	23	6
回答 8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回答 9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回答 10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>回答合計</b>	<b>637</b>	<b>230</b>	<b>160</b>	<b>70</b>	<b>171</b>	<b>128</b>	<b>43</b>	<b>71</b>	<b>47</b>	<b>24</b>	<b>139</b>	<b>98</b>	<b>44</b>	<b>576</b>	<b>64</b>
回答 1(%)	40.0%	45.2%	41.9%	52.9%	35.7%	34.4%	39.5%	32.4%	34.0%	29.2%	39.6%	40.8%	36.4%	41.1%	28.1%
回答 2(%)	3.0%	1.7%	1.3%	2.9%	3.5%	3.1%	4.7%	5.6%	4.3%	8.3%	2.9%	2.0%	4.5%	2.8%	4.7%
回答 3(%)	12.1%	7.4%	7.5%	7.1%	12.3%	10.9%	16.3%	21.1%	17.0%	29.2%	15.1%	12.2%	20.5%	12.2%	10.9%
回答 4(%)	8.3%	4.8%	6.3%	1.4%	11.7%	12.5%	9.3%	8.5%	6.4%	12.5%	10.1%	10.2%	11.4%	7.5%	17.2%
回答 5(%)	18.5%	14.8%	16.9%	10.0%	21.6%	23.4%	16.3%	22.5%	23.4%	20.8%	18.0%	20.4%	13.6%	18.8%	17.2%
回答 6(%)	13.5%	20.9%	22.5%	17.1%	11.7%	12.5%	9.3%	4.2%	6.4%	0.0%	10.1%	10.2%	9.1%	13.7%	12.5%
回答 7(%)	4.6%	5.2%	3.8%	8.6%	3.5%	3.1%	4.7%	5.6%	8.5%	0.0%	4.3%	4.1%	4.5%	4.0%	9.4%
回答 8(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答 9(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答 10(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

### <コメント>

授業選択の際に重視することを2つ上げてもらう質問では、回答が多かったのは、大学全体では、(1)学問的な興味、(2)時間割の都合、(3)将来の仕事の役に立つか、の順番であった。質問の仕方が若干異なるので一概には言えないかもしれないが、昨年度は、(1)学問的な興味、(2)時間割の都合、(3)単位の取りやすさ、の順番であった。ちなみに、今年度は単位の取りやすさ、が(4)番目となっている。他設問より回答者数は低いですが、全体的な傾向に大きな変化は見られなかった。

学年別でみると、1年生全体は、(1)は学問的な興味、で大学全体と同じだが、(2)は将来の仕事の役に立つか、となっている。1年生なりの将来展望かもしれない。上位学年でも全体の順位は変わらないが、将来の仕事に役立つか、を重視している回答が相対的に減少気味で、単位取得と時間割をかなり重視しているのが気になるところである。将来展望よりも、現実のアルバイト中心に生活設計していることを表しているのかもしれない。

いずれにしても、回答の数字の上では、いぜんとして学問的関心は尽きていないことが判明した。授業を担当する教員側が、学生たちの興味や関心はどこにあるのかを見極めながら、これにどのように対応するのかについてもいぜんとして問われている。

### 設問 50

授業時間外で学修中に授業の内容で分からないところが出てきた場合には、どのように解決していますか。（主な理由を1つ選んでください）

- ①教員に直接質問する
- ②友人に質問して教えてもらう
- ③自分で調べる
- ④わからないままにしておく

	全体	1年生			2年生			3年生			4年生			日本人	留学生
		全体	女子	男子	全体	女子	男子	全体	女子	男子	全体	女子	男子		
回答1(回答数)	105	39	26	13	23	18	5	6	2	4	31	22	10	94	11
回答2	167	71	51	20	45	33	12	17	14	3	26	16	10	151	16
回答3	111	29	15	14	29	16	13	20	10	10	29	20	9	102	9
回答4	5	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	2	1	4	1
回答5	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1
回答6	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
回答7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回答8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回答9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回答10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>回答合計</b>	<b>391</b>	<b>142</b>	<b>94</b>	<b>48</b>	<b>97</b>	<b>67</b>	<b>30</b>	<b>45</b>	<b>28</b>	<b>17</b>	<b>88</b>	<b>60</b>	<b>30</b>	<b>353</b>	<b>38</b>
回答1(%)	26.9%	27.5%	27.7%	27.1%	23.7%	26.9%	16.7%	13.3%	7.1%	23.5%	35.2%	36.7%	33.3%	26.6%	28.9%
回答2(%)	42.7%	50.0%	54.3%	41.7%	46.4%	49.3%	40.0%	37.8%	50.0%	17.6%	29.5%	26.7%	33.3%	42.8%	42.1%
回答3(%)	28.4%	20.4%	16.0%	29.2%	29.9%	23.9%	43.3%	44.4%	35.7%	58.8%	33.0%	33.3%	30.0%	28.9%	23.7%
回答4(%)	1.3%	0.7%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	3.6%	0.0%	2.3%	3.3%	3.3%	1.1%	2.6%
回答5(%)	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%
回答6(%)	0.5%	1.4%	1.1%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
回答7(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答8(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答9(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答10(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

### <コメント>

一昨年度から、(1)友人、(2)教員、(3)自分、の順番であったが、全体では今年度は(1)友人、(2)自分、(3)教員という順番となった。



<コメント>

学年によって理由の特徴は異なっている。全体としてまとめると、回答が多かった順番は、(1)寝坊、(2)は同率で体調不良、欠席等せずにきちんと出席した、となっている。

1年生は1時限目に英語科目が入っているので、寝坊や体調不良が欠席となる理由はある程度察することができる。ただし、1年生だけは他の学年と比べて、欠席等せずにきちんと出席した、がトップ回答である。3年生以上では、授業の雰囲気や授業のレベルを回答として上げている学生の割合が、昨年度と異なり、増えている（特に男子回答）。授業の雰囲気というのは漠然としているので、個人差が大きく作用すると思われるので何とも言えないところがあるが、授業のレベルについては、「レベルが高い」もしくは「レベルが低い」のいずれかであると考えられる。後者への対応としては、科目毎のレベルを明示することによってある程度ミスマッチを解消することはできると思われる。1, 2年生は、特に語学科目については、プレイスメントなどによるクラス編成を行っていることによって、こうしたレベル問題を起きにくい体制をとっていることが回答にも表れているといえる。

昨年度と同じことになるのだが、「体調不良」や「朝寝坊」は睡眠不足や生活時間の乱れが主因となっているといえる。これから、さらに授業外の学修時間が強く求められるようになるので、規則正しい生活習慣をつけるためにも、大学生活の中心は授業であり、学習であるという意識をもたせることが必要であろう。

本学学生の現状把握のため学生生活と学習に関する意識調査を行います。学生諸君のご協力をお願いします。

回答は記名式をお願いします。この質問用紙と回答用紙の両方に学籍番号と氏名を記入し、両方提出して下さい。

回答いただいた内容については、個人情報として厳重に管理いたします。

また、回答結果は成績評価には一切関係しませんので、率直にご回答ください。

**学籍番号** \_\_\_\_\_ **氏 名** \_\_\_\_\_

**I. 学生生活について**

各設問に対し選択肢の中から**最も適当と思われるものを一つ選び**、マークシートに記入して下さい。**複数回答可の質問は最も適当と思われるものを2つまで選択してください。**

1. あなたは日本人学生ですか？それとも海外からの留学生ですか？

1

1) 日本人学生 2) 留学生

2. あなたは現在、入学後何学期目ですか？

1) 3学期目または4学期目[大学2年生] 2) 5学期目または6学期目[大学3年生] 3) 7学期目以降[大学4年生]  
4) 2学期目[大学1年生]

3. あなたの性別は何ですか？

1) 女性 2) 男性

4. あなたは大学生活に満足していますか？

1) 満足している 2) まあまあ満足している 3) 普通 4) あまり満足していない 5) 満足していない

5. 学生生活の中で一番困っていることは何ですか？（複数回答可：最も適当と思われるものを2つまで選択）

1) 友人関係がうまくいかない 2) 将来の見通しがたたない 3) やりたいことが自由にできない  
4) やりたいことがない 5) 大学の授業に興味もてない 6) 大学の授業についていけない  
7) 経済的な問題 8) 特になし

6. 現在抱えている悩みや不安は何ですか？（複数回答可：最も適当と思われるものを2つまで選択）

1) これからの進路について 2) 健康上のこと 3) 勉学上のこと 4) 自分の性格のこと 5) 金銭上のこと  
6) 友人関係 7) いじめにあっている 8) 生活環境 9) 特になし 10) その他（ ）

7. 悩みがあったら誰に相談しますか？（複数回答可：最も適当と思われるものを2つまで選択）

1) 家族 2) 友達 3) 先輩 4) アドバイザーの先生 5) アドバイザー以外の先生 6) カウンセラー

7) 職員 8) 個人的な悩みを相談する人がいない 9) 相談しない

8. 学内のカウンセリングルームについて。

1) 行ったことがある 2) 行ってみたいと思ったことがある 3) 存在を知らなかった 4) 行かない

9. 8で「行かない」と答えた人は、行かない理由を選んで下さい。

1) 必要がない 2) 場所が悪い 3) 時間帯が悪い 4) 行っていることを他の人に知られたくない  
5) カウンセリングがどういうものか、よくわからない

10. アドバイザーにはどういう相談をしたいですか？（複数回答可）

1) 学業に関すること 2) 卒業後の進路の問題 3) 個人的な悩み  
4) その他 ( ) 5) 特にない

11. アドバイザーとのコンタクトは取りやすいですか。

1) 取りやすい 2) やや取りづらい 4) 取りづらい

12. 11で「取りづらい」「やや取りづらい」と答えた人は、どうしてコンタクトがとりづらいと思いますか。

1) アドバイザーが研究室にいない 2) 研究室がどこかわからない 3) コンタクトの取り方がわからない  
4) その他 ( )

13. あなたのアドバイザーとどの程度話をしていますか。

1) 頻繁に話をしている 2) 時々話をしている 3) 相談事があるときだけ話をしている  
4) 授業以外では全く話をしない 5) 全く話したことがない

3

14. 今までにアドバイザーと全く話をしたことがない人だけ答えてください。

なぜ、今までアドバイザーと全く話をしたことがないのですか。

1) 時間が合わないなどの理由で、機会を逃してしまう 2) 自分が消極的なため機会はあるが話すことができない  
3) 話したいと思うがアドバイザーが相談にのってくれそうにない 4) 特に話す必要がない  
5) アドバイザーが誰か知らない

15. あなたはたばこを吸いますか？

1) はい 2) いいえ

16. 本学の喫煙場所についてどう思いますか？

1) このままでいいと思う 2) 屋内禁煙にすべき 3) 学内全面禁煙にすべき 4) 屋内禁煙時間を設けるべき  
5) 他の場所に移動したほうがよい → どこですか。( )

17. 通学時間はどのくらいですか？

1) 15分以内 2) 30分以内 3) 1時間以内 5) 1時間以上

18. 通学手段は次のうちどれですか？（複数回答可）

1) 徒歩 2) バス 3) JR 4) 路面電車 5) 自家用車 6) バイク 7) 自転車

19. 自家用車、または、バイクで通学している人への質問です。

自家用車やバイクで通学をする場合、学校から許可を受けなければいけません。あなたは、許可を受けていますか？

1) 受けている 2) 知らなかったので受けていない 3) 知っていたが、許可は受けていない

4



20. 一日の授業が終わった後、何をすることが一番多いですか？  
 1) すぐに帰宅する 2) 友達と会う 3) サークル活動を行う 4) 学内で自習する 5) アルバイト
21. 授業がある時間以外は、学内のどこで過ごすことが多いですか。  
 1) 学食 2) コミュニティラウンジ 3) ライブラリー 4) クラブハウス 5) 空き教室 6) テラス  
 7) CoSTa スペース 8) 屋外
22. 週にどのくらいアルバイトをしていますか？  
 1) 授業後毎日 2) 授業後週に3、4日 3) 週末のみ 4) 夜間のみ毎日 5) 夜間のみ3、4日  
 6) 夜間のみ1、2日 7) していない
23. 現在あなたがしているアルバイトの職種は次のうちどれにあたりますか？**(複数回答可：最も適当と思われるものを2つまで選択)**  
 1) ファーストフード店での販売 2) ウエイトレス、ウェイター 3) 夜間の飲食店(居酒屋、バー等を含む)  
 4) コンビニエンスストア、スーパーやデパートでの販売、レジ係 5) 夜間のコンビニエンスストア 6) その他の販売  
 7) 家庭教師又は塾の講師 8) 事務 9) 工場や運送業等での軽作業
24. アルバイトが原因で授業を休んだことがありますか？  
 1) たびたびある 2) 時々ある 3) めったにない 4) 一度もない
25. 学内の施設、またその使用方法について改善してほしいものがありますか？**(複数回答可：最も適当と思われるものを2つまで選択)**  
 1) ラウンジ 2) 食堂 3) トイレ 4) ライブラリー 5) メディアセンター 6) 教室 7) 売店 8) 体育館  
 9) バス 10) CoSTa スペース 11) その他( )

5

※11) その他と答えた人は具体的に記入してください。

26. 平均でみた場合、一日(月～金で、週末は除く)の睡眠時間は大体どれぐらいですか。  
 1) 4時間未満 2) 4時間以上～5時間未満 3) 5時間以上～6時間未満 4) 6時間以上～7時間未満  
 5) 7時間以上～8時間未満 6) 8時間以上
27. 平日(月～金で、週末は除く)、朝食はどの程度とっていますか。  
 1) ほぼ毎日食べる 2) 2、3日に1回程度食べる 3) 4、5日に1回程度食べる 4) 殆ど食べない
28. 現在、身体面で健康な状態(勉学に支障のない程度)にあると思いますか。  
 1) 健康である 2) 概ね健康である 3) あまり健康ではない 4) 健康ではない
29. 掲示板について  
 1) 毎日くまなく見る 2) 毎日決まったところだけは見る 3) 学校に来たときには見る 4) 週に何度かは見る  
 5) あまり見ない 6) ほとんど見ない
30. 学生要覧について  
 1) よく参考にする 2) 必要なときには参考にする 3) ときおり参考にする 4) まったく見ない
31. 主な経費支弁者(学費や生活費など修学に必要な資金を出している人)は誰ですか。**(複数回答可：最も適当と思われるものを2つまで選択)**  
 1) 親 2) 親以外の保護者・親類 3) 自分自身(奨学金含む)
32. 経費支弁者からの資金のみで、修学可能ですか。  
 1) 可能 2) やや困難 3) かなり困難

6

33. 大学独自の奨学金（給付型）について、種類や申し込み方法などを  
1) 十分理解している 2) もっとよく知りたい 3) 知る必要はない
34. 外部団体（日本学生支援機構など）の奨学金（貸与型）について種類や申し込み方法などを  
1) 十分理解している 2) もっとよく知りたい 3) 知る必要はない
35. 大学独自の奨学金について意見・要望があったら、具体的に記述してください。
36. 学生の皆さんは全員、学友会の構成員です。外語祭、スポーツ大会、課外活動など積極的に参加していますか。  
1) はい 2) いいえ
37. 36で「いいえ」と答えた人は、不参加の理由は何ですか。**(複数回答可：最も適当と思われるものを2つまで選択)**  
1) 興味がない 2) 時間がない 3) 一緒に参加する友達がいない 4) 情報がない 5) 面倒くさい  
6) その他 ( )
38. 学友会執行委員会主催のイベントを増やしてほしいですか。具体的にどのようなイベントを開催してほしいですか。  
1) はい(具体例： ) 2) いいえ
39. 学友会の執行委員会へ、イベント以外に関する要望はありますか。あれば記入してください。  
( )

7

40. あなたはどの位の頻度でライブラリー（図書館）を利用していますか？  
1) 毎日 2) 週に2、3回程度 3) 週に1回程度 4) 月に1、2回程度  
5) 試験期間だけ 6) ほとんど利用していない 7) まだ一度も利用したことがない
41. 40. で「ほとんど利用していない」「まだ一度も利用したことがない」と答えた人は、利用しない理由を教えてください。選択肢にない場合は、「その他」に具体的に記入してください。  
1) 必要がない 2) 学外の図書館を利用している 3) ほしい資料がない 4) 本がきらい  
5) その他 ( )
42. メディアセンターの自習室には満足していますか？  
1) 満足している 2) まあまあ満足している 3) 満足していない
43. 42. で「満足していない」と答えた人は、その理由を具体的に記入して下さい。  
理由 ( )
44. キャリアセンターからの情報提供や来室時の相談対応、実施している課外講座等に満足していますか？  
1)満足している 2)まあまあ満足している 3)普通 4)あまり満足していない 5)満足していない

45. あなたの職業観にもっともよくあてはまると思われる項目を、以下の選択肢の中から一つ選んで回答してください。

- 1) 収入が少なくても興味を持てる仕事より、興味が持てなくても収入の多い仕事を選びたい
- 2) 収入や知名度などよりも、自らの興味・関心を優先して職業を選びたい
- 3) 収入や知名度などよりも、社会への貢献性を重視して職業を選びたい
- 4) どんな職業に就くかよりも、どこで働くか（勤務地）を優先したい
- 5) 大学で学んだことを生かせる職業を選びたい
- 6) やりたい仕事が見つかるまでは就職をしなくてもよい

46. 卒業後の進路について考えていますか？

- 1) 考えている
- 2) 考えていない

47. 46. で「考えている」と答えた人は、具体的に次のなかから選んでください。

- 1) 就職
- 2) 大学院への進学
- 3) 海外の大学、語学学校への留学
- 4) その他

48. 受講している授業（予習・復習を含む）以外で、資格取得など将来に備えた自主的な学習（例：漢字能力検定）の時間は週にどれくらいですか。

9

- 1) 30分未満
- 2) 30分以上～1時間未満
- 3) 1時間以上～2時間未満
- 4) 2時間以上～3時間未満
- 5) 3時間以上～4時間未満
- 6) 4時間以上

## II. 学習について

以下は大学での勉学に関する質問です。授業についての質問は特定の授業ではなく、授業全部をイメージして答え  
てください。

49. あなたが授業科目を選択するとき、重視することは何ですか。（複数回答可：最も適当と思われるものを2つまで選  
択）

- ①学問的な興味
- ②課題の量の多少
- ③単位の取りやすさ
- ④成績のつけ方（出席、試験・レポート等）
- ⑤時間割の都合
- ⑥将来の仕事に役に立つか
- ⑦授業のやり方、教え方

50. 授業時間外で学修中に授業の内容で分からないところが出てきた場合には、どのように解決していますか。（最も適当と  
思われるものを1つ選択）

- ①教員に直接質問する
- ②友人に質問して教えてもらう
- ③自分で調べる
- ④わからないままにしておく

5 1. あなたが履修登録した授業に出席しなくなる理由は何ですか。(複数回答可：最も適当と思われるものを2つまで選択)

- ①授業のレベル ②授業の雰囲気 ③体調不良 ④アルバイト ⑤寝坊 ⑥特に理由なし
- ⑦欠席等せずにきちんと履修した

5 2. 学生生活と学習について感じるものがあれば、以下の記述欄に自由に書いてください

学内において、ここをこのように改善したらもっと良くなると思う点がありましたら書いてください。  
皆さんのご意見をお聞かせください。